

# 三條別院のご案内

## 三條別院に想う

「三條別院に想う」の執筆を依頼され、改めて私の中の三條別院を訪ねる機会をいただきました。

私が生まれた時には既に別院は存在していません。改めてその存在に気付いたのは御本山より帰って、おとりこし報恩講に出仕した時です。ここは、「寺院だった」と、今更ながらに感じた事を思い出します。

それ以来、三條に来るとまず本堂に行つたものです。しかし、今では教務所や別院事務所には行きませんが、御本堂には同じ敷地内にあるにも関わらず、心が向いていきません。

自坊でも本堂にお参りがなく庫裡にしか上がつてこないと嘆いているのに、自身が三條に来ると優先順位が御本尊ではないのです。本堂に向き合い出会う場はどこなのか、寺院とは何なのだと自問自答の繰り返しです。

自坊を外から見ると、お檀家の視線が、我々の別院に向ける視線に近いのではないのでしょうか。

別院の元々の成り立ちは「願生寺異安心問題」の宗義安心を取り締まる掛所から始まったと聞いています。

つまり教法を宣布し、広く導くことを願いつつスタートしたわけです。

此の事においては御本山も別院も一般寺院も何ら変わりません。ある方向から見た時に、御本山や別院の姿は、我々の自坊を映しだす鏡のごとき存在なのだとして改めて気づかされます。

三條別院は教区内ご寺院の崇敬によつてしか成り立ちません。この度、教別一体の宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌が執行されますが、この御遠忌を通し、我々にとつてどの様なスタートを切るのか、大事なかたち作りをする時期が今きています。

「一宗の繁昌と申すは、人の多くあつまり、威の大なる事にてはなく候う。一人なりとも、人の、信をとるが、一宗の繁昌に候う」と蓮如上人は申されています。

イベントとして多くの人を集めても、正しい御信心に出会う人がいなければ「一宗の繁昌」とは言えないと申されています。

自分こそ、その一人になる心もちで宗祖の御勝縁に向き合いたいものです。

(第二十一組勝樂寺任職 安藤 栄寿 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

松浦 寿公 氏

(第二十三組唯稱寺・三條別院非常勤囃託)

よりご執筆いただきます

■春彼岸会・東日本大震災犠牲者追弔法会について

本年の春彼岸を左記の通り厳修いたします。皆様のご参詣をお待ちしております。

また一昨年の三月十一日に発生した東日本大震災を風化させないという願いの下、東日本大震災犠牲者追弔法会を、三回忌法要として、二十三日の春彼岸会・日中法要と兼修して勤めさせていただきます。

旧御堂では、被災地の震災直後と現在の様子、支援の活動等を写真と動画で報告いたします。また、おしるこのふるまい、チャリティーバザーもごさいますので、ぜひご参詣ください。

※チャリティーバザーの物品のご提供、被災地での支援活動の写真を募集しております。重ねて、法要の御参勤もお願いしております。詳しくは別送のご案内をご覧ください。

◆期 日 三月二十一日(木)～二十三日(土)

◆日程および法話講師

二十一日(木) 午後一時三十分より逮夜法要

法話 倉井 光弥 氏(第十一組 養泉寺)

二十二日(金) 午前十時より永代経総経

法話 田中 静麿 氏 (第十八組 西照寺)  
おとき (正午)

午後一時三十分より速夜法要

法話 ひき続き 田中 静麿 氏

二十三日 (土) 午前十時より

日中法要兼東日本大震災犠牲者追弔法会

法話 清谷 真澄 氏

(現地復興支援センター主任)

なお、二十日 (金) の正午に、おときを賞加金 千円にて、用意いたしますので、ご希望の方は三月十八日 (月) までに当別院までご連絡下さい。

### ■お誕生法要く子ども奉仕団くのご案内

「三条別院にどうい 親鸞聖人・お釈迦様のお誕生会を通して 共に同朋として生きてあることに気づく」(子どもテーマ「あなたとおともだちになりたい!」)のテーマの下、本年も三条別院で子ども奉仕団を開催いたします。

子ども奉仕団を通して、自分自身を見つめてみませんか。「いのちの大切さ・本当の私」のことを皆で考える大切な場となるよう、皆で育て合うよう頑張っています。多くのご参加をお待ちしております。

◆会場 真宗大谷派三条別院

◆日時 四月二日 (火) く三日 (水)

◆対象 新小学三年生く新六年生

※現在:小学二年生く五年生

◆参加費 四〇〇〇円 (当日徴収)

◆申込 申込用紙 (同封書類) に必要事項をご記入のうえ、当別院へ三月八日 (金) ま

でに申し込みください。

◆問合せ 三条別院

※詳細につきましては、案内チラシをご覧ください。  
左は今年の奉仕団の様子。



【昨年の工作は誕生仏づくり】



【釈尊・親鸞聖人の誕生を祝う】

### ■御命日 (二十八日) の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。

なお、前日 (二十七日) はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【二月二十八日 (木)】

午前十時 お勤め (御命日 日中法要)

正信偈 草四句目下

念仏讃 洵三

和讃 彌陀成仏のこのかたは  
次回 願以此功德  
次第六首

### ◎今月の法話講師

鷺尾 幸雄 (三条別院輪番)

### ◇今後の講師一覧

- 三月 朝倉 奏 氏 (第二十組 金寶寺)
- 四月 東護 典子 氏 (第十九組 改観寺)
- 五月 渡邊 智龍 氏 (第十八組 恩長寺)
- 六月 美野 彰恵 氏 (第二十一組 本悟寺)

### ■定例法話会のご案内

毎月十二日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。(四帖目十二通) 三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く  
午後一時三十分より (二時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

二月く四月

堀川 秀道 氏 (第十六組 淨専寺)

五月く七月

佐々木 祐玄 氏 (第十五組 光善寺)

## ■別院声明教室のご案内

別院声明教室を毎月一回開催しております。門徒の朝夕のお勤め、得度考査の内容の講習です。参加者を継続して募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 二〇一三年 二月 休会

三月 十四日 (木)

四月 十八日 (木)

五月二十三日 (木)

六月 十三日 (木)

◇時 間 午後六時より午後八時まで

◇会 場 教区同朋会館 (三条別院内)

◇講習内容 正信偈 草四句目下

念仏讃 淘三

和讃 弥陀成仏のこのかたは

次第六首

回向 願以此功德

◇講 師 島津 崇之氏

(第十八組 満行寺)

◇持ち物 『真宗大谷派勤行集』または

『大谷聲明集 上』念珠、筆記具

◇参加費 五〇〇円/回

## ■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

### ◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円

・一泊二日 二、五〇〇円

### ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円

・昼食代 一、〇〇〇円程度

・夕食代 一、三〇〇円程度

## ■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてますので、お気軽にご相談させていただきます。

## ■三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会(茶話会)など、近隣

の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院ください。お申し込み、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

## ◇◇編集後記◇◇

寒さも一段と厳しくなり、真っ白な雪景色にややウンザリしています。子どもの頃は雪が降るのが待ち遠しく、冬は楽しみな季節であったのに、今は余計な仕事が増えてしまうと嘆いている。自分の都合で考えが変わる、実にいい加減なものだなと思います。

そんな私の計らいに関係なく時は流れるわけで、その待ち遠しい春の訪れとともに、別院に来て丸三年が経ちます。長いようであつという間の三年。三年間で学んだこと、まだまだ学びきれない事が沢山ありますが、また新たな気持ちで頑張っていかなければと考えております。

そのためにはまず目標だ! ということであげ始めるときりがありません。その一つとしては三年間で蓄えた六キロの体重を落としていく事も…。手始めに昼食の「大盛り」を止めようと密かに心に誓います。

別院メールアドレス sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp



【除雪機で境内の除雪】